

福島県の新たな基幹種雄牛「喜多平茂」について

目次(お伝えする内容)

- ・基幹種雄牛になるまで
- ・基幹種雄牛造成のしくみ
- ・直接検定成績
- ・現場後代検定成績
- ・交配方針



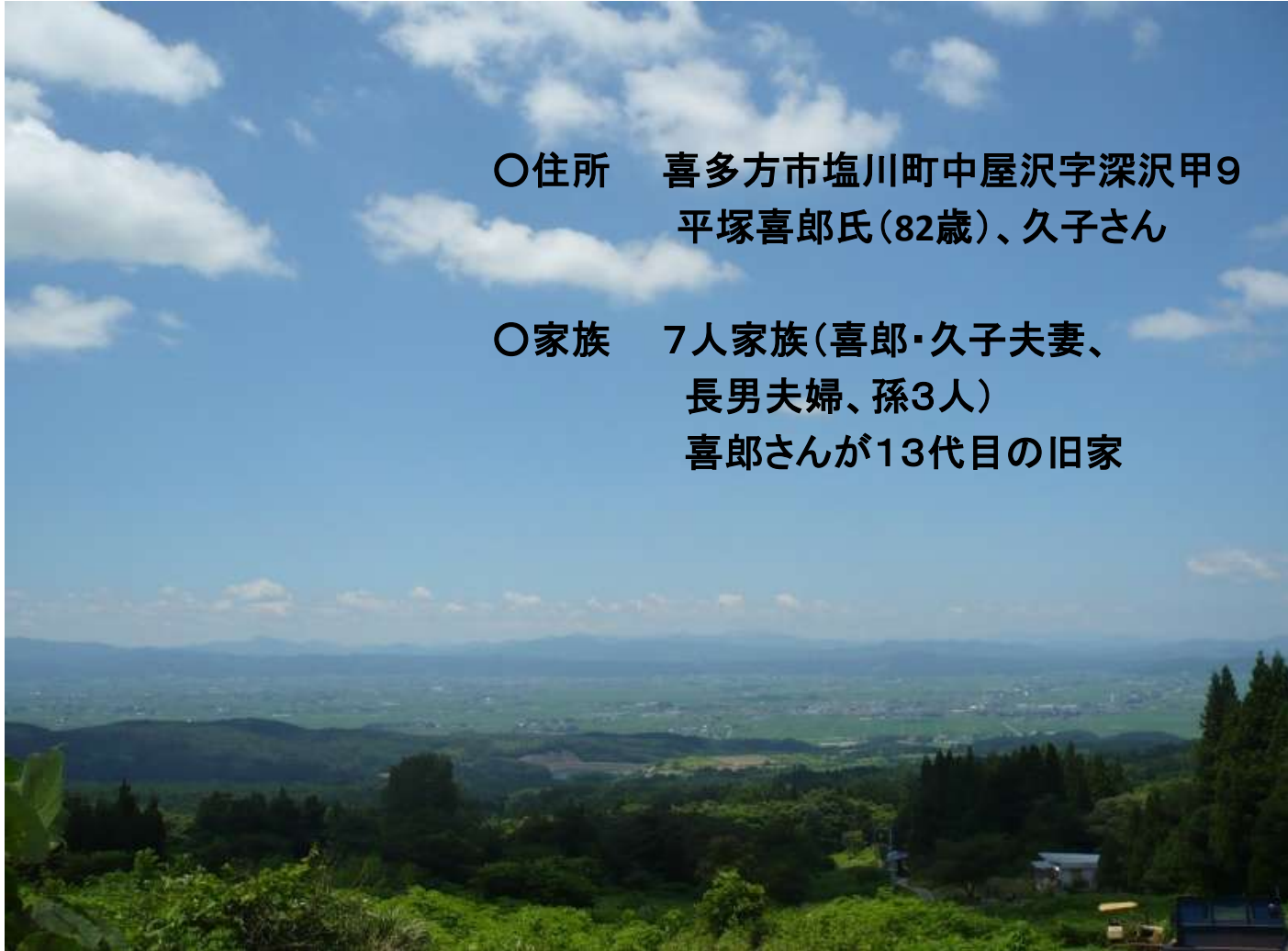
福島県次期主力種雄牛「喜多平茂」

福島県農業総合センター畜産研究所

○生産者 平塚喜郎氏の経営概要

○住所 喜多方市塩川町中屋沢字深沢甲9
平塚喜郎氏(82歳)、久子さん

○家族 7人家族(喜郎・久子夫妻、
長男夫婦、孫3人)
喜郎さんが13代目の旧家



扇ヶ峰牧場から塩川集落を望む(JA会津いいで 板橋泰之氏撮影)

1 経営概要

○経営状況 昭和50年頃から和牛3頭飼養
(現在は1頭飼養)

経営面積 水田1.2ha、畑0.7ha

かつては葉たばこ

(40a) や ホップを栽培

○農業経営への道

- ・父親の辰五郎さんが学校の教師であったため、喜郎さんは、就農目的に会津農林学校に進学。
- ・農林学校時代には、学徒出陣(援農)で北海道農業奉仕を経験。

また、機械体操が上手く、全校生徒の前で、体操の模範演技を披露。

- ・几帳面な正確で、小まめに記帳することから、計数管理が得意。
- ・県内外の研修に参加すると、研修内容を久子さんに詳しく報告。
- ・久子さんは、十数年間年寄り家族を介護してきた。



右から二人目、喜郎さんの父辰五郎さん
(会津若松市湊小学校校長で退職)



平塚喜郎・久子夫妻

2 和牛との出会い

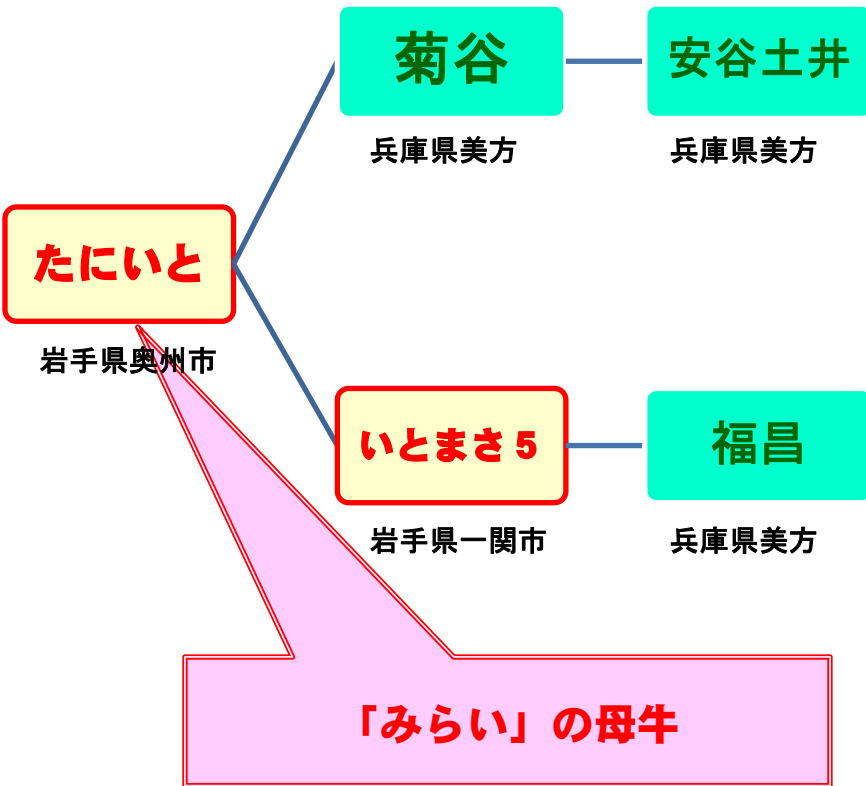
- ・かつては農耕用として馬を飼育していたが、その後牛に替えた。
- ・牛は、役用であっても飼育している間に価値が増加し、売る時にはお金が残った。
- ・昭和50年代になって、和牛3頭とし、以降、家族の健康状況もあり、3頭継続飼育。
- ・田の畦草などで飼うことができ、牛は丈夫で家族と同じ。
- ・繁殖と肥育どちらの経営も盛んなJA会津いいで管内でも、牛づくりの腕には定評があった。
- ・まじめで、こつこつ実践する喜郎さん夫妻は、地域からの信頼が厚く、また、「喜多平茂」生産は無欲の成果。
- ・10年前に喜郎さんが病気となり、以降は和牛1頭飼育。



現在、和牛1頭を飼育

○「喜多平茂」の誕生まで

1 菊谷の娘(たにいと)導入



- (1) 菊 谷
 - ・岩手県の和牛を全国銘柄 牛に押し上げた種雄牛(昭和55年兵庫県村岡町生まれ)
 - ・江刺市農協が導入

- (2) 安谷土井
 - ・昭和51年兵庫県美方郡村岡町生まれ
 - ・安美系の代表的種雄牛
 - ・体型的に体積に富み、均称良く、産肉能力は当時の検定成績の中で最高レベル
 - ・供用期間は5年に満たないが、種雄牛になった息子牛は120頭以上

- (3) 福 昌
 - ・菊谷と同様、岩手県の和牛を全国銘柄に押し上げた(昭和48年兵庫県村岡町生まれ)
 - ・岩手県東磐井郡の酪農協が導入
 - ・島根県の糸桜系に交配した産子は子牛市場で高い評価を受けた

2 「みらい」とその産子

「みらい」は伸びがあり、体型がとても良かった。

みらい

父
北国7の8

母
たにいと

みらいの産子

平茂勝で5産

・茂二郎が畜産研究所へ行ってからは、何度も様子を見に行った。

(1) 北国7の8を交配して「みらい」誕生
北国7の8

- ・昭和59年島根県太田市生まれ
- ・第7糸桜系で最も愛された種雄牛
- ・平成2年に間接検定終了するも安福165の9などに隠れ、平成5年頃まであまり評判は高くなかった
- ・平成6年から大ブレイク、全国で子牛が生産
日本の和牛史上、屈指のストロー生産を誇る。

(2) 「みらい」の第2子（父 平茂勝）が平成15年度横浜ミートフェアにおいて**名誉賞獲得**

(3) 平成15年 「みらい」が基礎雌牛認定

(4) 「みらい」の第4子が「茂二郎」、第5子が「茂三郎」（どちらも父 平茂勝）、**「茂三郎」が後の「喜多平茂」**

3 「喜多平茂」の血統図

血統

平茂勝

黒原2441

(鹿児島・薩摩)

第20平茂
黒育134

(鳥取・八頭)

ふくみ

黒高106567

(鹿児島・曾於)

北国7の8

黒原1530

(島根・大田)

みらい

黒2026682

(福島・喜多)

たにいと

黒1989816

(岩手・奥州)

気高

(鳥取・鳥取)

第13ひらしげ

(鳥取・鳥取)

宝勝

(鹿児島・鹿屋)

はつこ

(鹿児島・曾於)

第7糸桜

(島根・仁多)

きたぐに7

(島根・大田)

菊谷

(兵庫・美方)

いとまさ5

(岩手・一関)

豊参

(鳥取・西伯)

気高

(鳥取・鳥取)

第8気高

(鳥取・鳥取)

福花5

(鹿児島・鹿屋)

第14茂

(岡山・苫田)

晴美

(鳥取・八頭)

安谷土井

(兵庫・美方)

福昌

(兵庫・美方)

錦福

(兵庫・美方)

橋本

(鳥取・八頭)

気高

(鳥取・鳥取)

藤花

(鳥取・西伯)

城松

(島根・大田)

第9高神

(島根・仁多)

秀菊

(兵庫・美方)

第7糸桜

(島根・仁多)

○「喜多平茂」とは

生年月日：平成16年10月25日

血統：平茂勝×北国7の8×菊谷

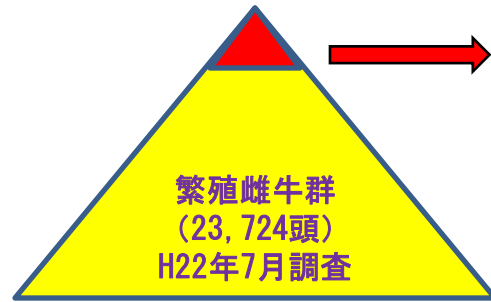
産地：喜多方市

生産者：平塚喜郎氏

喜多平茂の母「みらい」はその当時、脂肪交雑の育種価が県内トップクラスであり、その母に平茂勝を交配して誕生したスーパー種雄牛。



本県の基幹種雄牛造成のしくみ



「基礎雌牛」
優秀な繁殖雌牛♀

人工授精



「指定交配種雄牛」
優秀な種雄牛♂（凍結精液）

雄子牛♂の誕生

直接検定候補牛の調査

選抜

直接検定による発育・体型等の調査
【雄子牛6~7ヶ月齢開始（112日間）】

【採精トレーニング】 【種畜検査】 【候補種雄牛の選抜】

現場後代検定による産肉能力の調査
〈産子を肥育して枝肉調査〉

育種価評価〈遺伝的な産肉能力の評価〉

選抜

福島県基幹種雄牛としてデビュー

1~
2年

約
4
年

☆現場後代検定とは

候補種雄牛の凍結精液

一般の繁殖農家の繁殖雌牛
に人工授精

妊娠期間(10ヶ月)

分娩

繁殖農家で子牛育成
(8~9ヶ月間育成)

肥育農家へ移管
(20~24ヶ月間肥育)

出荷→枝肉成績判明

○喜多平茂の直接検定成績

(1) 直接検定成績

- ・検定期間 H17.7.5～10.25(112日)
- ・DG(全期間) 1.11 kg
- ・終了時審査得点 83.7点

・検定終了時の測尺値(12ヶ月齢)

単位 : cm

体高	胸囲	胸深	尻長	かん幅
125	175	64	47	43
0.3 σ	1.2 σ	1.3 σ	-0.7 σ	-0.1 σ

(2) 体型上の特徴

美点

- ・発育
- ・体の深み
- ・尻の形
- ・腿

欠点

- ・やや毛質
- ・体の伸び

○喜多平茂の採精トレーニング・種畜検査・候補種雄牛選抜

○平成17年10月25日：直接検定終了→採精トレーニング開始

○平成18年 8月30日：第1期取得交配牛に選定

（平成18年度第2回福島県肉用牛改良委員会幹事会）

○平成18年 9月14日：臨時種畜検査に合格

○平成18年10～ :取得交配開始



第1期取得交配開始時の「喜多平茂」 2才

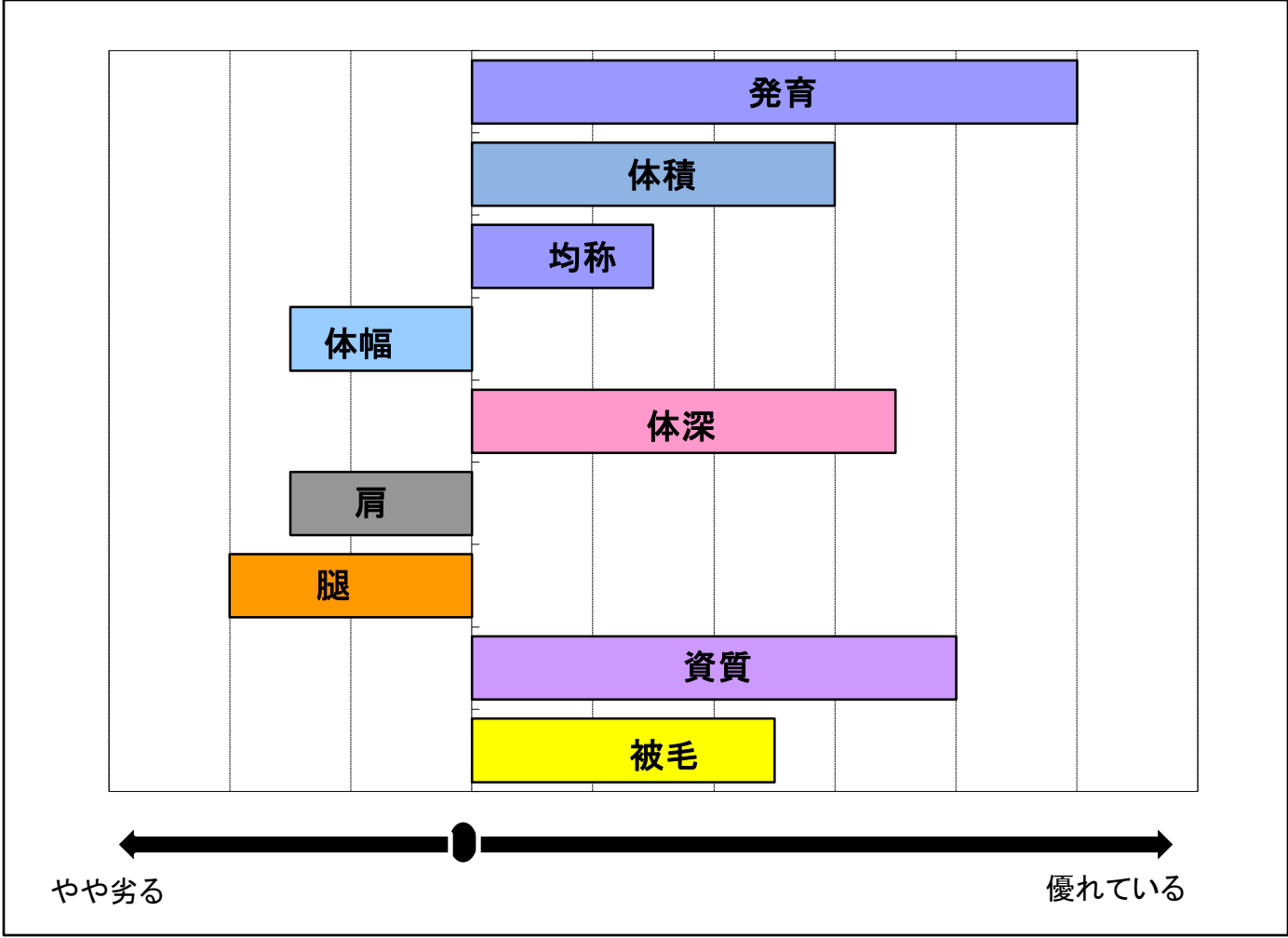
○「喜多平茂」の精液性状

平成21年7月～平成22年9月 採精29回の平均

	PH	精液量	精子数	奇形率
		(ml)	億/ml	(%)
「喜多平茂」	6.2 ±0.1	7.2 ±1.5	16.4 ±4.3	6.9 ±4.3
一般性状*	6.2～6.8	3～10	3～20	10%以内

○喜多平茂の現場後代検定成績(その1)

子牛評価(検定候補牛の事前調査評価、5~6ヶ月齢)



美点
発育・資質・
体積・体深・
被毛

惜しい点
腿・肩・体幅

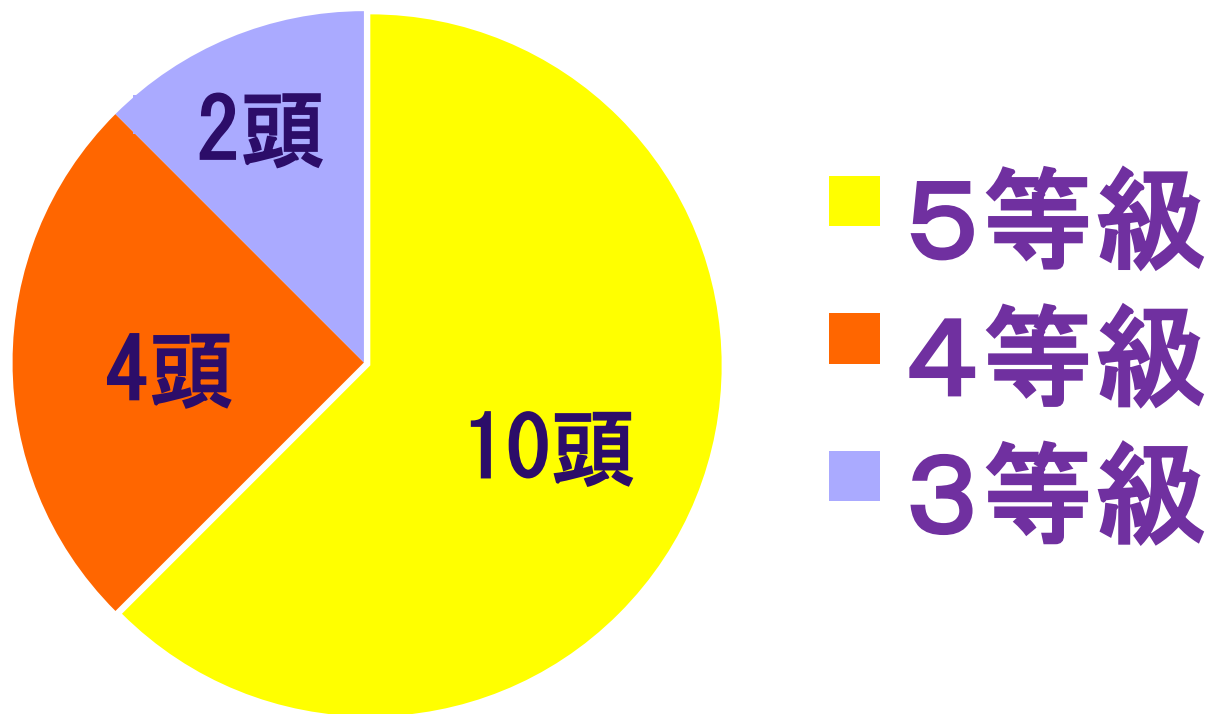
○現場後代検定成績(その2)

No	血統		性	枝肉成績				
	祖父	曾祖父		枝肉重量	ローズ芯	バラ厚	BMS.NO	格付
1	茂勝	紋次郎	去勢	516	58	8.8	10	A5
2	奥茂	安平		478	62	9.3	10	A5
3	安茂勝	安平		473	56	8.4	10	A5
4	茂勝	北国7の8		446	57	7.7	9	A5
5	菊谷	藤桜		421.4	50	8.2	9	A5
6	福安福	茂糸波		425	48	9.0	8	A5
7	景東	安福165の9		377	50	7.2	7	A4
去勢				448.1	54.4	8.4	9.0	(100%)
8	安糸福	平茂勝	雌	434	63	8.1	8	A5
9	神高福	東平茂		426	63	8.0	8	A5
10	第5隼福	菊谷		383	46	6.8	8	A5
11	安福栄	糸光		523	78	7.6	8	A5
12	茂勝	北国7の8		436	54	8.0	7	A4
13	北国7の8	紋次郎		501	48	8.3	7	B4
14	金幸	第5平茂		481	49	7.5	6	A4
15	安糸福	宏勝		442.2	55	6.6	5	A3
16	金幸	神高福		418.5	52	8.6	5	A3
雌				449.4	56.4	7.7	6.9	(78%)
全体				448.8	55.6	8.0	7.8	(87.5%)

※ ()内は4・5率

○現場後代検定成績(その3)

格付等級別頭数



○ 上物率 87.5%(5等級率 62.5%)

○ BMS.NO 7.8(去勢 9.0 雌 6.9)

○ 福島県歴代1位

現場後代検定合同調査会出品牛



▲出荷前の喜多平茂産子
(肥育牛)

喜多平茂-菊谷-藤桜
No.9 A5 (去勢)



喜多平茂-茂勝-北国7の8 No.9 A5(去勢)



喜多平茂-安糸福-平茂勝

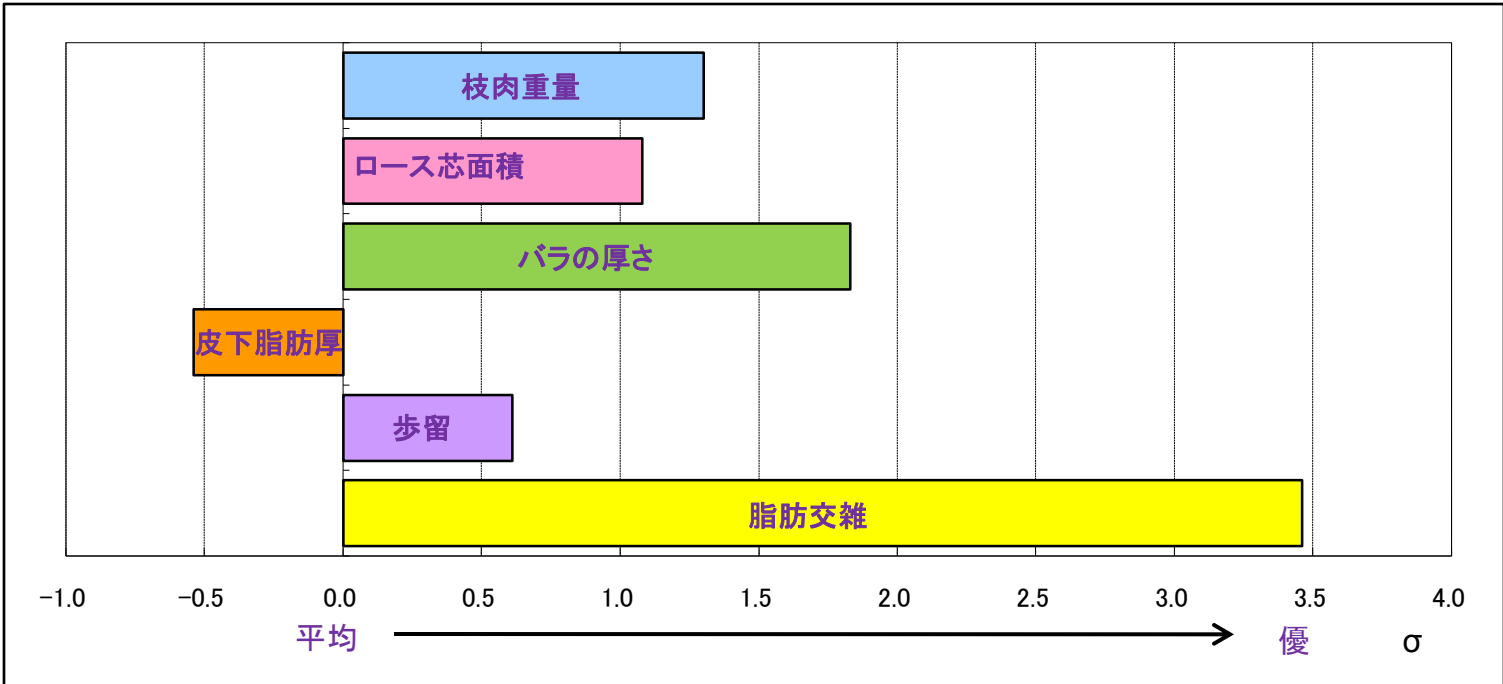
No.8 A5(雌)



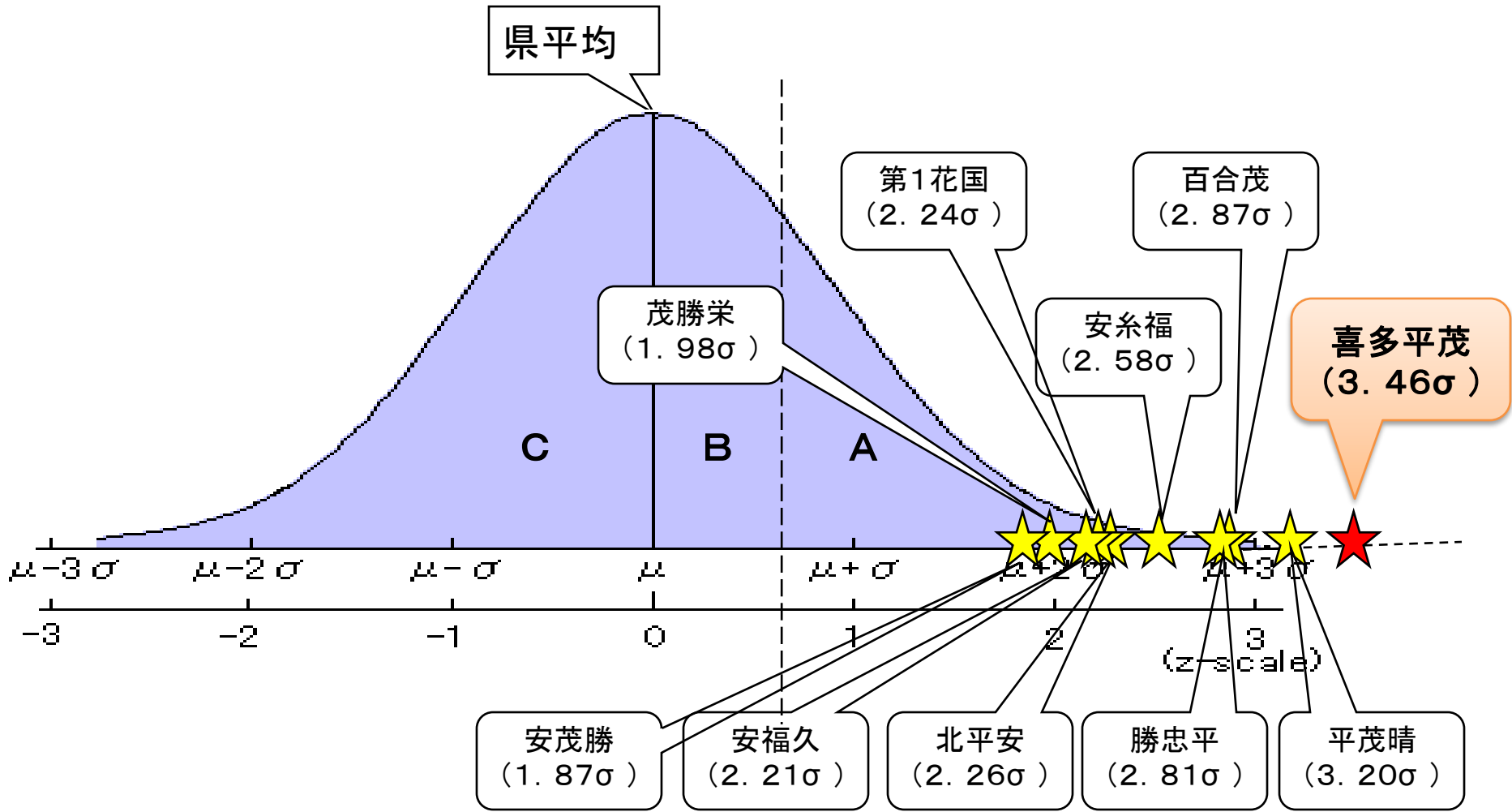
○現場後代検定成績(その4)

喜多平茂の推定育種価

	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
育種価	56.9	8.03	1.21	-0.10	1.28	2.60
σ値	1.30	1.08	1.83	-0.54	0.61	3.46

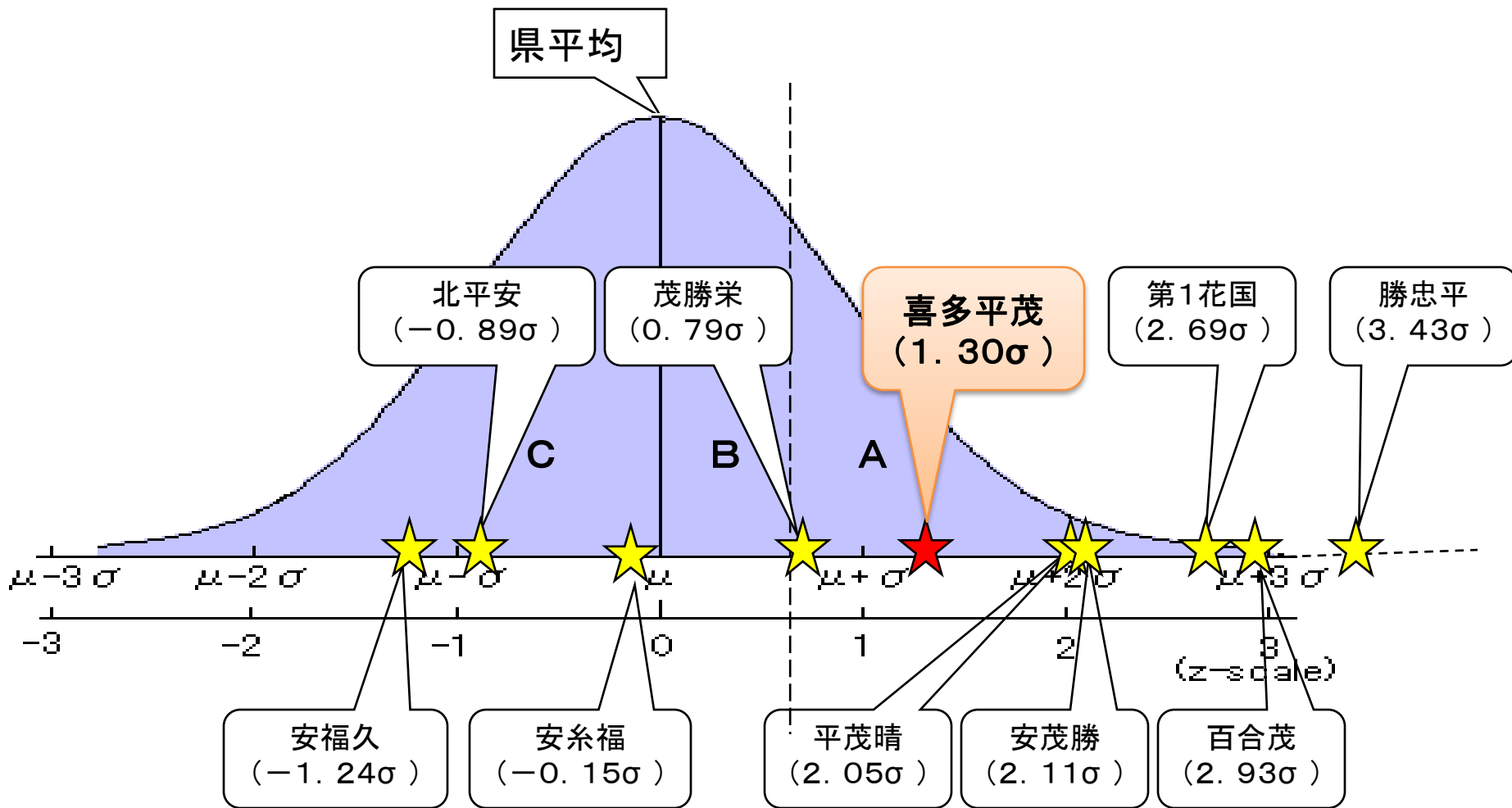


群を抜く「喜多平茂」の脂肪交雑能力 ～脂肪交雑～



(福島県内の雌牛に交配した場合の評価)

枝肉重量もAクラスの「喜多平茂」 ～枝肉重量～



(福島県内の雌牛に交配した場合の評価)

「喜多平茂」の交配方針

～雌牛系統別相性(現場後代検定成績より)～

後代牛系統		頭数	系統別平均			
			枝肉重量		脂肪交雑	
母の父	母の母の父		2代祖	3代祖	2代祖	3代祖

但馬系	但馬系	4	448.2	450.5	8.2	9.0
	気高系	3		434.1		7.0
	糸桜系	4		456.6		8.3

気高系	但馬系	3	437.3	422.8	7.0	7.3
	気高系	1		481.0		6.0
	糸桜系					

糸桜系	但馬系	1	501.0	501.0	7.0	7.0
	気高系					
	糸桜系					

○「喜多平茂」の交配方針(まとめ)

○安糸福、安福久などの
但馬系種雄牛を父に持つ雌牛へ交配する

○2～5産目の若い雌牛に交配する

○初産牛への交配は控える

(参考)喜多平茂産子の生時体重
(平成21年度沼尻分場産)

雄4頭 37.3kg±3.3kg ※最大42kg

雌9頭 30.1kg±3.6kg

その他の基幹種雄牛

H-50 景東	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原3721	83.1	H10.1.4	東平茂	景藤	69.999	1.748	1.63

H-57 登美貴	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原3937	82.6	H10.8.20	北国7の8	高栄	32.307	1.839	1.05

H-60 日本桜	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原13345	81.0	H11.11.21	北国7の8	糸清水	10.528	1.887	1.29

H-61 福寿幸	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原4165	84.0	H12.2.6	第6金高	東平茂	77.682	1.682	1.40

H-72 隼平茂	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原4440	82.4	H14.6.19	第5隼福	東平茂	22.266	1.922	1.11

H-76 第1勝光	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原4570	84.0	H15.3.27	平茂勝	東平茂	109.571	1.951	1.37

H-82 福福栄	登録番号	得点	生年月日	血統		育種価		直接検定成績
				父	母の父	枝肉重量(kg)	BMS	1日増体重(kg)
	黒原14135	83.0	H16.10.13	福栄	平茂勝	33.395	1.831	0.96

基幹種雄牛の推奨交配



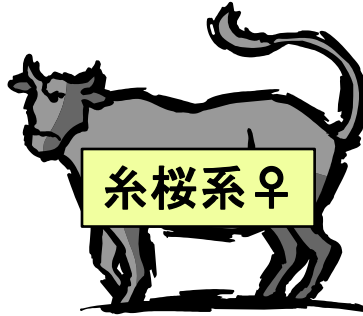
気高系♀

平茂勝や金幸などを父牛にもつ肉量に優れた繁殖雌牛

(繁殖雌牛の父牛例)
平茂勝・勝忠平・百合茂・安茂勝・金幸など



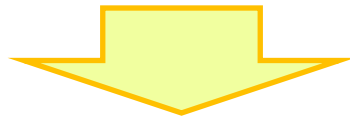
登美貴 日本桜
隼平茂 福寿幸
福福栄



糸桜系♀

北国7の8などを父牛にもつ肉量に優れた繁殖雌牛

(繁殖雌牛の父牛例)
北国7の8・第1花国・福之国・平茂晴など



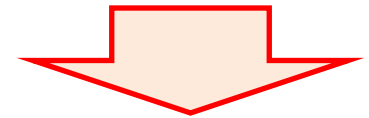
隼平茂
景東



但馬系♀

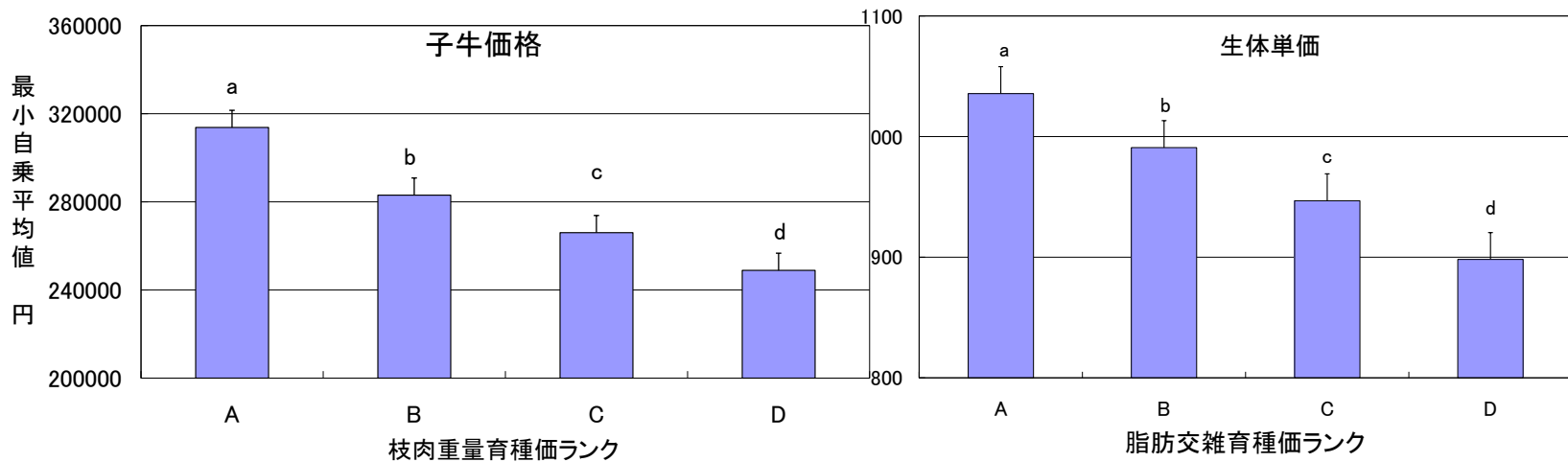
安福の後継牛などを父牛にもつ肉質に優れた繁殖雌牛

(繁殖雌牛の父牛例)
安福165の9・安平・安平照・福栄・安糸福・茂勝など



喜多平茂
第1勝光 登美貴
景東

和牛経営を予測する。それが育種価。



**資料：「黒毛和種繁殖雌牛の枝肉形質の育種価と産子の子牛市場成績との関連性」
(内田 宏 (牛の博物館長) 東北畜産学会第60回大会発表)**

○本グラフについては、内田先生から直接送付いただいたものを掲載しています。

福島県の種雄牛をよろしくお願いします！



畜産研究所繋養の種雄牛ラインナップ